

第159回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時場所

日時：2025年7月2日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵1階交流フロア

2 参加者9名

3 会議内容

<新規内容>

（1）スイーツ大好き男子が語る！役立つスイーツばなし

【概要】

・スイーツを長年愛しているのだが、他の講演会のなかで、講演テーマにそったスイーツの話の挿入することがある。その話が好評で、おすすめスイーツの話だけでなく、店名・商品名の由来など、いかにして考えられたか等のプロセスを皆さんに伝え教養を深めて頂く。

【意見】

・伊丹公論でも和菓子の店を紹介している。

→老舗探訪か。参考にさせていただく。

・老舗探訪にも紹介している。伊丹公論からとりましたなら整理して。

→わかりました。

（2）第6回 すのこでDIY

【概要】

・参加者に100均で買ってきてもらったすのこで開閉式の棚をつくる

【意見】

・ネジは普通のドライバーでいけるのか。

→いける。すのこの木は柔らかい。

（企画書なし）文化財愛護カルタ復活に向けて

【概要】

・文化財愛護カルタは50年ほど経っている。そのカルタの現在版を作れたらと思う。

【意見】

・著作権はどなたが持っていたのか？

→保存協会だと思う。か、個人で持っているか。

・知らなかったの、一度、展示して見てもらったらいいのでは。

→それは、そうだ。

・文化財保存協会とバッティングはしないのか。

→バッティングはしない。昭和 40 何年で記録が切れている。今、やっているかはわからない。

・何も声かけずに勝手にやっても大丈夫ってことなのか。

→一応、聞いてからにするが。

・絵を変えるとということなのか。

→最終的に絵を変えたい。

・基本はこどもがということか。

→そうだ。写真を撮ってもらって、行くときは、保護者と一緒に行ってもらい、違う視点でも見てもらえるのではないかと。また、地域に子供を出すっていう部分と、その二つがメインだ。

・普通やったら、カルタ募集します。これに対して何か絵を送ってください。家族で写真撮ってきてその写真で書いたやつでくださいっていうやつにするのか、それとも、付き添うのか。

→付き添いはしない。保護者と行ってもらう。

<イベント報告>

(1) 5 月 11 日 (日曜日) : ~呼吸ひとつで変わる!~ 初めての瞑想体験

参加者は、25 人ぐらいでした。たくさんの方に参加いただいて、皆さん瞑想ってすごい難しいイメージがあったみたいだが、最初はちょっと肩をほぐしたりするようなことから、瞑想して頭の中でどういうことが起こっているのかとか、日常に取り入れるために、どういうふうなことを学んでいくのかというようなことを簡単に話させてもらった。結構皆さん呼吸の深さとか、日常はやっぱり考え事していると呼吸が浅くなっているとかっていう気づきが得られたみたいで、今回はまず、お腹で呼吸をしたり、自分の気持ちと、体を整えていくということに意識を向けるようなことや、瞑想で目をつぶって呼吸しているときに、実際頭の中ってどういうふうなメカニズムになっているのかちょっと難しい話をしたが、感情を自分で制御して押さえ込むんじゃなく、うまくストレスとつき合っていくのが、この瞑想でバランスが取れますよっていうようなお話をさせてもらった。皆さんとても興味深く聞いてくださり、心が穏やかになったような等、感想をいただいた。

(2) 6 月 6 日 (金曜日) : 図書館のアフタヌーン II 詩と詩&ハーモニカ演奏

76 名の参加者があった。アンケートを読ませていただき、そこから少し報告させていただく。第 1 部は、谷川俊太郎さんの詩に曲をつけたものがあり、それを合唱させてもらった。第 2 部は、ハーモニカグループの演奏とコラボさせていただいた。中身として谷川さんが去年亡くなったことで話題性もあり、国民的詩人という部分もあったので、皆さん関心を持っていただけたように思う。歌だけでなく、ハーモニカを 2 部にもっていった構成で飽

きさせない展開だったように思う。それからもう1点は、参加型という点で、皆さんと一緒に歌ったりということがあったので、皆さん楽しんでいただけたというような感想もいただいた。改善点としては、私達コーラスグループですので練習はしているが、足りない部分について少し質を上げていく必要があると思った。ちょっとご指摘いただいたのが、休憩時間を1部と2部の間に15分とった。準備の関係もあったが、15分は長いという意見もあった。15分は仕方ないと思うが、それをお客さんに飽きさせない構成を考えなければという課題ではないかと思った。次年度、また何かやらせていただけたら、またよろしく願います。

(3) 6月14日(土曜日): 気になる本で話そう『おしごとそうだんセンター』ヨシタケシンスケ/著

ヨシタケシンスケさんの本で、おしごとそうだんセンターでトークをさせていただいた。参加者は11名の方があって、基本、本を読んでなくても参加できる読書会みたいだが、この日は実際に本を購入して持ってきてくれて、学校の授業のように教科書のような感じでした。絵本だが、すごく深い話ができて、30歳代から60歳代の参加者で、皆さんそれぞれ悩んでるとか考えたりとか、立ちどまったりとかいろいろな方がいて、これからどうやって働いていたらいいのかとか仕事をしていったらいいのかとか仕事というものを自分の人生の中でどう位置づけるのかとか、そういったことについて細かくお話をすることができた。絵本だと思っていたが、皆さん絵本じゃないというふうな意識でしっかり本その物に語ることができた。

(4) 6月21日(土曜日): 自然災害について学ぼう! キッズ・サバイバー講座 洪水編

雨の降る仕組みなど、実験も交えて話させてもらった。こどもが考えた非常用持ち出し袋で何が必要を考えてもらい、洪水時どういうふうな準備したらいいかを知っていただいた。

(5) 6月25日(水曜日): 漫画を語ろう!

参加者は3名だった。まず、自転車の話で、学生のころどんな自転車に乗っていたかなどで話が盛り上がった。その後、村上もとかさんの作品で盛り上がった。話が途中で途切れるかと思ったが結局、時間いっぱいまで使って最後まで盛り上がったという状況だった。

4 次回の運営会議 2025年8月6日(水) 18:30~ことば蔵1階交流フロア